

ラブリー スマイル

Merry in Sapporo プロジェクトタイアップ

ゴールデンウィークが始まりましたが、みなさんどこへ行きますか。花見も遊園地も捨てがたいけれど、笑顔の街頭ブラッグが登場した四番街に遊びたい

のもオツですね。今日は、四番街商店街の重鎮が登場してくれています。それではメリーな連休をお過ごし下さい。



友達と笑ってる日持

暗いニュース吹き飛ばせ

新聞で知ったメリープロジェクトに興味があり、自ら撮影場所に足を運んだ新聞理絵さん(20)。この3月に芸術系の専門学校を卒業し、就職を探す傍らメリースタッフの一員として活動している。「学生時代、笑わない日はなかったけど、世の中を見たら暗いことが多い。笑顔は必要なんだったと思って。卒業制作でも笑顔をテーマにしたという新聞さんの夢は、ビルの壁を覆うような絵を描くことだ。

クラブに来てね

「毎日がんばってて、楽しい。」北海道下ノメーノ学生に迫る本間さん(28)は、学生をながらクラシックを主軸にして、服飾の道へ進むことを目指して入学した。販売企画を学ぶうち、イベント企画の面白さに惹かれた。今は7月まで開催されるかわりなブティックに自分で飾り付けたいという思いが、毎日のように目覚めさせている。その思いが、毎日のように目覚めさせている。



毎日を星の様に輝かしたい。

一人前のメイドさんに

定山温泉ホテルのメイドさんとして、接客や食事の準備など、1日12時間働く。その中で、接客の楽しさを味わっている。最初は緊張したが、今は接客が楽しくなってきた。笑顔で接客することが、毎日の楽しみのひとつだ。



幸せいっぱい♡

夢、売ります

「夢が売れるよ、みなさんへ。」共創会(株)の理事長を務める山内博樹さん(48)は、胸を張って「夢の扉」を開いて、四番街商店街がメリープロジェクトを説明するに手を取った。山内さんは、夢の扉を開くことで、夢を売るという新しいビジネスモデルを提唱している。



素直に前進!!

今週のメリーなひと



やったー!!バンザイ

ベトナムに引かれます

ビジュアル地下1階のレディースショップ「ミスティウーマン」は女の子らしい洋服や雑貨、小物をそろえる明るいお店。「アニメ素材のジャケットやパリエーション豊富なシャツが人気。夏物も入荷中ですよ」とPRするのは販売員をこなす田村亜希子さん(22)。現在の古着勤務は2年目。休日は映画やビデオ鑑賞でリラックスしている。「日本脱出」を計画していて、ベトナムで民族衣装の刺繍を習いたいのだそうだ。

※このコーナーでは、イベントの仕掛け人である水谷孝次さんが撮影した写真と、イベントに協力してくれた方のメッセージを毎週紹介します。

PJスタッフから

初めまして「Merry in Sapporo」プロジェクトスタッフの山川みずみです。現在、学生で美術の勉強をしています。Merry in Sapporoには、自分も参加したいと思い、いろいろなことに挑戦しています。Merryな笑顔であってほしいです。



少し肌寒かったのですが、みんなで笑顔のゴミ拾いできました。

180人分の「笑顔の展覧会」が始まります

4月24日(土)に、雨のひざざりの中、5つのチームに分かれ、みんなを笑わせるためのイベントを開催しました。Merry in Sapporoのイベントとして、街を歩いた人たちにお渡ししました。お返しは、笑顔の展覧会です。ぜひ一度足を運んでみてください。10日からは、笑顔の展覧会を開催します。詳しくは10日発行予定の「Merry in Sapporo」をご覧ください。

「Merry in Sapporo」プロジェクトとは

「まちを笑顔で埋め尽くそう!」を合い言葉に、アートディレクターの水谷孝次さんによるイベント「Merry in Sapporo」は、元気な札幌や北海道をMerry(幸せ)で包みます。

札幌の人々の笑顔の写真を札幌四番街商店街のいたるところに張り出したり、商店街の店員がメリーのバッジを付けて接客したり、みなさんの写真とメッセージを集めたフリーペーパーを発行したりします。

「Merryはあなたの足下から」ー5月30日の「ゴミ・ゼロの日」には、全道で5万人が参加したごみ拾いイベントでフィナーレを迎えます。詳しくはホームページwww.21merry.netをご覧ください。